

2015年度 (2016年3月31日現在) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	26,739	保険契約準備金	999
預貯金	26,739	支払備金	116
有価証券	2,280	責任準備金	882
国債	1,364	再保険借	28
その他の証券	916	その他の負債	1,370
有形固定資産	221	未払法人税等	1
リース資産	12	未払金	0
その他の有形固定資産	209	未払費用	1,352
無形固定資産	3	預り金	1
ソフトウェア	3	リース債務	12
その他の無形固定資産	0	仮受金	2
再保険貸	36	退職給付引当金	6
その他の資産	491	特別法上の準備金	20
未収金	215	価格変動準備金	20
前払費用	0	繰延税金負債	1
未収収益	0	負債の部合計	2,425
預託金	130	(純資産の部)	
仮払金	1	資本金	25,100
その他の資産	142	資本剰余金	17,100
貸倒引当金	△1	資本準備金	17,100
		利益剰余金	△ 14,856
		その他利益剰余金	△ 14,856
		繰越利益剰余金	△ 14,856
		株主資本合計	27,343
		その他有価証券評価差額金	2
		評価・換算差額等合計	2
		純資産の部合計	27,346
資産の部合計	29,771	負債及び純資産の部合計	29,771

(貸借対照表の注記)

- 1 有価証券の評価は、その他有価証券のうち時価のあるものについては3月末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価の算定は移動平均法）、時価を把握することが極めて困難と認められるものについて、取得差額が金利調整差額と認められる公社債については移動平均法による償却原価法（定額法）、それ以外の有価証券については移動平均法による原価法によっております。  
なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
- 2 固定資産の減価償却の方法は、次のとおりであります。
  - ① 有形固定資産（リース資産を除く。）  
定率法によっております。
  - ② リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとした定額法によっております。
  - ③ 無形固定資産（リース資産を除く。）  
ソフトウェア  
利用可能期間に基づく定額法によっております。
- 3 貸倒引当金は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、当社の定める「資産査定規程」、「同基準書」、「償却及び引当金計上規程」および「同基準書」に基づき、次のとおり計上しております。  
個別債権ごとに査定し、回収可能性に重大な懸念があると判断した債権または重大な価値の毀損が生じていると判断した債権については必要と認められる額を引当てております。
- 4 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務の見込額を計上しております。
- 5 価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。
- 6 消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
- 7 責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しております。
  - ① 標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式（平成8年大蔵省告示第48号）
  - ② 標準責任準備金の対象とならない契約については、平準純保険料式
- 8 従来、消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式（事業費等の費用は税込方式）によっておりましたが、当年度から免税業者となり税込方式に変更しております。この変更による当期の経常損失および税引前純損失に与える影響は軽微であります。
- 9 当社は、適正な収益管理とリスク管理を実施し、資産運用における事業の健全性維持という観点から、リスク管理の強化に努め、投資環境と運用の多様化に即応した効率的な運用を目指すことを基本方針としております。この方針に基づき、安全性・換金性（流動性）に留意し、運用しております。  
なお主な金融商品として、有価証券は市場リスクおよび信用リスクに晒されております。市場リスク管理については、代表的な計測手法であるバリュー・アット・リスク（VaR）手法を用いて市場リスク量を計測し、管理を行っております。また、信用リスクについては、個別の投資先について定期的に信用状況を調査し、管理を行っております。

主な金融資産に係る貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預貯金	26,739	26,739	—
(2) 有価証券	2,280	2,280	—
その他有価証券	2,280	2,280	—

(1) 現金及び預貯金

時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券

3月末日の市場価格等によっております。

- 10 有形固定資産の減価償却累計額は116百万円であります。
- 11 関係会社に対する金銭債務の総額は9百万円であります。
- 12 繰延税金資産の総額は、2,533百万円、繰延税金負債の総額は、1百万円であります。繰延税金資産は全額評価性引当額として控除しております。  
繰延税金資産の発生の主な原因は、保険契約準備金137百万円、減価償却超過額1,218百万円、繰越欠損金1,158百万円であります。  
繰延税金負債の発生は、その他有価証券の評価差額によるものであります。  
「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」が2016年3月29日に国会で成立したことに伴い、2016年4月1日以降に開始する事業年度に適用されるものについては法定実効税率が28.24%に、2018年4月1日以降に開始する事業年度に適用されるものについては法定実効税率が28.00%にそれぞれ変更になりました。この変更による当期末の繰延税金負債への影響は軽微であります。  
当年度の法人税等の負担率は△0.06%であり、法定実効税率28.84%との差異の主な内訳は、評価性引当額△28.81%であります。
- 13 保険業法施行規則第73条第3項において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金（以下「出再支払備金」という。）の金額は10百万円であります。また、同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という。）の金額は55百万円であります。
- 14 1株当たりの純資産額は、11,394円23銭であります。
- 15 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は83百万円であります。  
なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。
- 16 当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。退職給付債務の算定につきましては簡便法を採用しており、退職給付引当金は6百万円であります。
- 17 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

2015年度 2015年4月1日から  
2016年3月31日まで 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	3,940
保険料等収入	3,892
再保険収入	3,796
運用収入	96
利息及び配当金等収入	2
有価証券利息・配当	2
貸倒引当金戻入額	0
その他経常収益	45
退職給付引当金戻入額	34
その他経常収益	10
経常費用	11,049
保険金等支払金	1,343
再保険給付	964
その他返戻金	245
再保険料	5
責任準備金等繰入額	128
支払準備金繰入額	154
責任準備金繰入額	60
資産運用費用	94
支払利息費用	0
事業経常費用	9,346
その他経常費用	203
税減その他経常費用	125
償却費用	67
その他経常費用	11
経常損失	7,109
特別損失	2
固定資産等処分損	1
特別法上の準備金繰入額	0
価格変動準備金繰入額	0
税引前当期純損失	7,111
法人税及び住民税	4
法人税等合計	4
当期純損失	7,116

(損益計算書の注記)

- 1 関係会社との取引による収益の総額は0百万円、費用の総額は3,414百万円であります。
- 2 支払準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払準備金繰入額の金額は10百万円であります。責任準備金繰入額の計算上、足し上げられた出再責任準備金戻入額の金額は2百万円あります。
- 3 1株当たりの当期純損失の金額は4,157円98銭であります。
- 4 退職給付費用の総額は、6百万円であります。

5 関連当事者との取引は以下の通りであります。

(百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)の割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
親 会社	第一生命保険 株式会社	被所有 直接 100%	役員を受入 出向者の受 入等	増資の引受 (注1)	30,000	—	—
				コンピュー タシステム の譲渡 (注2)	2,947	—	—

(注1) 当社の行った第三者割当増資を、第一生命保険株式会社が1株につき15千円で引き受けた  
ものであります。

(注2) 価格その他の取引条件は、市場実勢、類似取引を勘案し決定しております。取引金額に  
は消費税等を含めております。

6 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。